

赤潮・貧酸素情報（１）

平成２７年４月２７日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

４月２７日に豊前海区沿岸において有害プランクトン調査を行った結果、有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの増殖が認められました。

< 有害プランクトンの状況 >

- 苅田港入口でカレニア・ミキモトイの増殖（底層で海水 1m 中に 23 細胞）が認められています。この他、苅田航路沿いでも増殖が認められています。
- カレニア・ミキモトイは、数～数千細胞で魚介類に被害を及ぼします。
- 本種は、増殖初期は中層（主に 5 m 層前後）で増殖する性質を持っていますので、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい種類です。
- 本種は、昨年同時期に発生しており、コウイカ等への悪影響が懸念されております。

< 今後の状況 >

- 今後、晴天が続いた場合、赤潮や貧酸素が発生する恐れがあります。
- ４月から本種の増殖が確認されることはまれであり、魚介類への影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。
- 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：俵積田、野副）までご連絡下さい。

4/27調査結果

番号	採水場所	採水層 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	カルニア・ミキトイ (細胞数/海水1ml)
①	苅田航路(岸)	0	16.9	31.70	0
		5	15.7	31.76	2
		B-1	14.6	31.89	19
②	苅田航路(沖)	0	16.2	31.98	3
		5	15.1	31.98	2
		B-1	14.2	32.13	1
③	蓑島沖	0	17.7	31.49	0
		5	16.1	31.73	0
		B-1	14.5	31.91	0
④	苅田港入口	0	15.5	31.91	1
		5	15.2	31.87	23

